

山海平野！ToMo 区分会報

2021年度 社会福祉法人道南福祉ねっと 21年 6月 1日(火) 発行 第10号

6月行事予定

6月 2日(水)	GHそしあ防災訓練
6月 5日(土)	法人休業日
6月 7日(月)	工賃支給日
6月 9日(水)	GHれんげ防災訓練
6月14日(月)	ToMoハウス防災訓練
6月16日(水)	GHオリーブ防災訓練
6月19日(土)	法人休業日
6月23日(水)	GHつぐみ防災訓練
6月29日(水)	GHすみれ防災訓練

今回は「生活介護センターえーる」での活動を紹介します。

段々と日差しが強くなり暖かい季節を迎える中、「えーる」では近場の公園での運動や付近の散歩活動も多くなりました。公園ではサッカー、キャッチボール、日向ぼっこ、ランニング、鉄棒遊び、シーソー、ブランコ等で楽しんでいます。ブルーシートを持参し芝生のうえで心地よい風を感じ、空気に触れ、

光や匂いに接して自然を満喫しました。自粛の多い生活の中、



気分転換にもなり、みんなからは終始良い笑顔がこぼれます。

新型コロナウイルスに負けない道を構築するために、皆で喜びも悲しみも分かち合い、励まし合いながら笑顔で過ごす日々を大切にしていきたいと思えます。

地域散策活動では散策コースに落ちているごみを拾い、道南福祉ねっとの掲げる地

域貢献につながるよう活動を行っています。

誰がゴミをたくさん拾えたか競争したりと楽しそうな姿が見られます。

また、ゴミ拾いをしていると小さな事にも目が届くようで、花の綺麗さや、こんなところにこんなものが！と気づいたときは皆とても嬉しそうな顔をしています。

散策中、すれ違う方への挨拶を心がけているのですが、すれ違うたびに「挨拶して

くれた！」「ちゃんと挨拶できた！」と嬉しそうに話して



います。頭を下げるだけでも嬉しそうです。

このご時世、暗い話題ばかりの中で地域交流や活動を通して皆の表情が明るくなり、幅広い将来を想像出来るようになればと考えてます。そのためにも職員一同更に研鑽を積み、活動内容を広げていく所存です。

文責 支援員 佐藤



山海平野！PORT 区分会報

2021年度 社会福祉法人道南福祉わっと 2021年6月1日(火)発行 第10号

6月行事予定

- 6月 5日(土) 事業所休所
- 6月 7日(月) 工賃支給日
- 6月 19日(土) 事業所休所

早いもので今年も上半期最後の月、6月に入り、そろそろ海や山の恋しい季節となりましたが、皆さまどうお過ごしでしょうか。

例年であれば、暖かくなってきた今頃は、「今年はどこに出掛けようか」「次のレクは何を食べに行こうか」など仲間と話し胸を弾ませていたころではないでしょうか。

しかし、新型コロナウイルスもなかなか終息には至らず 2021年5月28日、私たちが住んでいる北海道も新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が6月20日までの延長が決定されました。

そんな中「NEWハウス」では何か楽しみを見つけようと、「施設周辺の草むしりをしたりお花を植えて水をあげる等、協力して花の成長を日々楽しみにしています。



夏には、たくさんの花が咲いてくれることでしょう。

また先日、野菜の皮むき作業が早く終わった日に城岱牧場まで地域散策に出掛けてきました。コロナ対策をしっかりとしながら今年初めての地域散策となり、天気も良く作業の合間の気晴らしになりました。

(下が城岱牧場での写真です)



5月13日には、防災訓練を実施しました。今回は消防の方にも来ていただき、実際に避難する際の注意点など教えていただくこともできました。普段からの訓練の大切さを改めて認識できる貴重な時間となりました。



(左は水消火器を使用して消火活動をした様子)

NEWハウスでは野菜の皮むき作業をメインとしていますが、作業を終えた余暇活動時間にはコロナ禍の中でも何か楽しめることや夢中になれること、笑顔が増えることを探し日々取り組もうと試んでいます。

文責 サビ菅長 岩谷

山海平野！WORK 区分会報

2021年度 社会福祉法人道南福祉ねっと 21年6月1日(火)発行 第10号

6月行事予定

6月5日(土) 法人休業日
6月7日(月) 工賃支給日
6月19日(土) 法人休業日
6月22・23日(火・水) 防災訓練

新緑の匂いと共に、爽やかな風が吹きつける季節となりました。自粛ムードで外出がはばかれる中、皆さまはどのようなゴールデンウィークを過ごされましたか？

今年も「森町さくら祭り」が中止となりましたが、オニウシ公園や青葉ヶ丘公園の人の往来は去年に比べると多いようです。



町が人で賑わう事を嬉しく思う反面、コロナウィルスの蔓延が助長されることへの恐怖心がはらむ複雑な心境です。各市町村でコロナウィルスワクチンの予防接種が着々と行われており、予防接種を受けてコロナウィルスからの恐怖から解放される日を心待ちにされている方もいらっしゃるのではないかと思います。

しかし、予防接種を受けたからといって絶対に罹患しないとは限りません。自分が罹患するかもしれないというリスクを背負いながら、今後も危機感を持って日常生活を送らなければなりません。

話は変わり、先日(5月5日)ネイパル森で行われたこども祭り「春フェスタ」ですが、入場者数は26組100名ほどの来場となりました。会場は、ネイパル森の職員さんが中心となり、学生ボランティアさんなど多くのボランティアスタッフで運営されています。

当日は雨が予想され、屋内での開催となりました。各ブースでは、缶バッジ作りや火おこし体験など各自個性的な店舗が10店舗ほど出店されていました。しかし、入場数に制限があったせいか例年よりもやや賑やかさに欠ける印象でした。



「道南福祉ねっとブース」では、パウンドケーキ各種、チーズケーキ、創作アクセサリ、手作りマスク、子供向けリユース品(おもちゃや子供服)の他に、シーグラスをあしらったヘアピンの無料創作体験コーナーを設けました。例年と比較すると人の数が減り、賑わいに欠けたことは否めませんが、いつも親身になって指導してくださるボランティアスタッフさんの献身的な姿勢には心打たれるものがあります。また、こどもたちの無邪気にはしゃぐ笑顔は相も変わらず癒しを与えてくれる唯一無二のものだなと感じました。

今秋にも第2弾「こども祭り」が開催される予定ですが、皆さんの参加を募っていかれるかどうか状況が危惧されます。コロナ禍のストレスから早く解放されたいものです。

文責 支援員 加賀谷

みんなと早く外販活動したいな〜...!
その際には、たくさん参加してネ。

